

第2回 内灘海岸・放水路回遊空間整備構想検討委員会 会議録要旨

【日 時】 令和5年10月26日(木) 15時00分~16時30分

【場 所】 内灘町役場3階301・302会議室

【出席者】 (委員9名)

岡会長、岡部副会長、前田委員、宮本委員、春田委員

米田委員、出雲委員、丸一委員、中居委員

※欠席 堀委員

(オブザーバー2名)

北陸農政局河北潟周辺農地防災事業所 井関調査設計課長

石川県土木部港湾課 松山港湾管理グループリーダー

(事務局4名)

都市整備部 宮本担当部長、企画課 奥田課長、南課長補佐、廣川主事

【会議内容】

1. 開会

(1) 会長挨拶

2. 議題

(1) 第1回の振り返り

(2) 委員からの意見

(3) 構想(素案)

(4) 今後の予定

3. その他

4. 閉会

【主な質疑】

質問1：構想にイメージ図を盛り込むということだがどのような内容か。

回答1：建物や道路のイメージ図をエリアごとに視覚的に説明できるように今後検討する。

質問2：素案(案)には色々と盛り込みすぎではないか。津幡町に森林公園があるように、内灘町には水にまつわる公園として回遊(海遊?)公園を整備すればよいのではないか。

回答2：構想段階では、夢のあるような施設を盛り込みたい。

質問3：海岸道路は現実的なのか。並行してサイクリングロードは可能か。

回答3：財政事情があり、平成18年度で終了した道路の再現を検討している。道路整備後も砂撤去等のメンテナンス費用に毎年数百万がかかる見込み。仮に舗装した道路を整備する場合は、側道にサイクリングロードを整備できるかもしれないが、膨大な費用がかかる。

質問4：防潮水門工事が令和13年度完了というのだが、8年後のことより今から始めることができることに取り組んでいくべき。何が一番取り組みやすいか。

回答4：海岸拠点であればオブジェの整備、駐車場等の問題もあるが、スポーツ大会や野外フェスなど実施できるかもしれない。

質問5：国県の補助がないとできない事業構想であるが予算的な見通しは。

回答5：構想段階で予算ありきではなく、特に決まっていない。具体的な補助メニューは今後検討していきたい。民間主体の補助メニューもあるので連携することも検討したい。

質問6：放水路左岸トイレが使用禁止となっているが、復旧の見込みは。

回答6：水を汲みあげることができず、修理が難しい。簡易トイレで対応している。

質問7：目標年、スケジュールを記載した方がよいのではないかな。

回答7：構想段階で年度を提示することは難しい。短期的や長期的な表現になる。具体的な年度は実施計画段階で検討することになる。

【主な意見】

- ・放水路では、平日でも釣りが人気。駐車場は整備されていないが、100台以上は駐車できる。冬場は雪捨て場になっている。
- ・グランピング（コンテナホテル）整備には時間がかかるのでは。電源等整備は必要かもしれないが、オートキャンプ場整備の方が早く実現できるのではないかな。
- ・災害時にトラックに積載できる宿泊施設（レスキューホテル）であれば国等の補助も受けやすいかもしれない。
- ・放水路にジップラインを整備するだけでも内灘町が全国区で有名になると考えられる。まずはジップライン（目玉）を作ってから、アスレチック等の整備を拡大していけばどうか。人集めができれば民間の算入も期待できる。
- ・ジップラインは往復の方が良いのでは。
- ・ジップラインは風の強い日など安全面の確認が必要。
- ・女性としてはトイレを充実させてほしい。

【事務局からのお知らせ】

- ・基本理念（キャッチコピー）については検討中であり、意見がある場合は1週間後を目途に事務局までお知らせしてほしい。
※結局意見の提出はなかった。

以上